

NEWS LETTER

エジプト・アラブ共和国
特別活動を中心とした
日本式教育モデル発展・普及プロジェクト



ニュースレター第9号

第9号では、第8号に引き続きエジプト日本学校で働く先生の様子を紹介します。全国で働く先生へのインタビュー記事をご覧ください。

第9号の 主な記事

エジプト日本学校
で働く先生vol.2

コラム：プロジェク
トとエジプト日本学
校の1年間

エジプトでは、日本の学習指導要領に定められた「特別活動」を参照し、現地の制度や習慣に沿って現地適合理化しています。そこで、本紙では、エジプトのものを「Tokkatsu」として表します。



エジプト日本学校で働く先生 vol.2

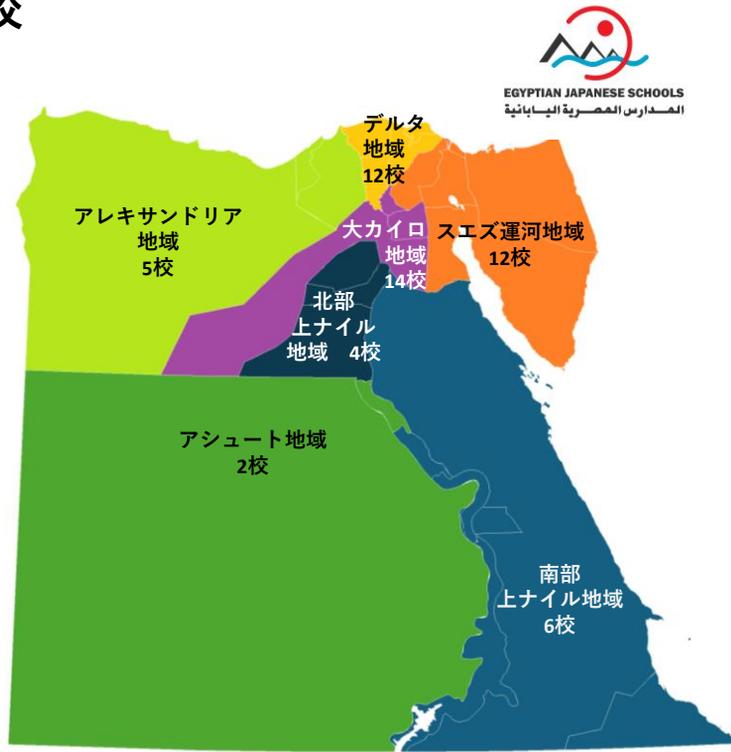
ニュースレター8号に引き続き、エジプト日本学校に勤務する先生を特集します。本号では地域の特徴と、全国のエジプト日本学校で働く7名の先生にインタビューした内容をお届けします。

地域別にみるエジプト日本学校

エジプトは、7地域27の県に分かれており、主にナイル川流域やナイル下流また海沿いの町が栄えています。多くのエジプト日本学校もそれらの地域で開校しています。エジプト全土には、2024年10月に新たに開校した4校が加わり、55校のエジプト日本学校が所在しています。多くの学校では、昨年度に6年生が小学校を卒業し、中学1年生に進級しました。

地域別では、首都カイロを含む大カイロ地域に14校、次いでスエズ運河地域に12校、デルタ地域に12校開校しています。

また、毎年2回実施している、長期休暇中の研修では、全国から先生方が首都カイロにある研修所に集まります。全国各地からの経験共有を楽しみにしている先生方も多くいます。近年では、各地域を担当しているTokkatsu指導員主導で近隣の公立学校とのTokkatsuの経験共有を中心とした学校間交流も進んでいます。



地域名	地域的特長	学校数	教員数
アレキサンドリア地域	地中海沿いのエジプト第2の都市アレキサンドリアに3校あり、エジプト最西端の海辺の町マトルーフ校も含まれます。	5校	137人
デルタ地域	農業が盛んなデルタ地域にある学校には、JICA海外協力隊のボランティアも多く派遣されています。	12校	507人
大カイロ地域	首都カイロを含む地域には、最も多い14校が開校しており、3つの学校が隣接している市もあります。	14校	498人
スエズ運河地域	シナイ半島を含むスエズ運河地域は、海沿いに立地する学校が多くあります。	12校	422人
アシュート地域	広大な砂漠を含むアシュート地域は最も少ない学校数です。	2校	74人
北部上ナイル地域	カイロ近郊のデルタ地域に並ぶ農業地帯であるファイユームに2校、ナイル川沿いに2校開校しています。	4校	145人
南部上ナイル地域	エジプト北部の観光地アスワンを含むこの地域では、ナイル川沿いに4校と、紅海沿いに2校開校しています。	6校	240人

※学校数は、2025年度調べ、教員数は、2024年度調べ

エジプト全国各地のエジプト日本学校で働く 7人の先生を紹介

マトルーフ校アフマド先生

2022年の学校の開校時から働いています。出身のアシュート県には公立学校の仕事が無かったため、マトルーフ県に来ました。



サムヌード校マイサ先生

以前は教会で子どもたちの生活のサポートなどのボランティアをしていました。その後、ディスカバーの教員を経てソーシャルワーカーとして働いています。



アリーシュ校アフマド先生

アリーシュは小さい町で、海がきれいです。家では、必ず子どもと遊ぶ時間を作っています。家庭でも学級指導で行った内容を子どもたちに向けて行っています。



ニューカイロ校ヘバ先生

エジプト日本学校で働く前から、性格がきちっとしていましたが、働き始めて学校の文化が、私の性格に合っていると感じています。



ラディッシュ校ゼイナブ先生

2019年からエジプト日本学校で働いています。その前は2012年から公立学校で働いていました。両親が高齢なので、家では料理を担当しています。



トゥール校 イスラー先生

子どもが3人おり、2人はエジプト日本学校に通っています。子どもは学校でTokkatsuから色々学んでいて「お母さんが疲れているから手伝います」など言います。



アスワン校 マハムード先生

家族が教員で自然と教員を目指しました。子ども達にポジティブな内容を話すように心がけています。



学校名/名前	県	地域	教科
マトルーフ校/アフマド先生	マトルーフ県	アレクサンドリア地域	算数
サムヌード校/マイサ先生	ガラビーヤ県	デルタ地域	ソーシャルワーカー
ニューカイロ校/ヘバ先生	カイロ県	大カイロ地域	幼稚園
アリーシュ校/アフマド先生	北シナイ県	スエズ運河地域	算数
トゥール校/イスラー先生	南シナイ県	スエズ運河地域	算数
ラディッシュ校/ゼイナブ先生	アスワン県	南部上ナイル地域	アラビア語
アスワン校/マハムード先生	アスワン県	南部上ナイル地域	アラビア語





マトルーフ校アフマド先生

Q 1:両親が先生で、家族も多くが先生です。そのため、自分も教員になるのは当然だと思い、教育学部がある大学に入りました。先生という職業は、本当に良い職業だと思っています。元々、中学校と高校で教えていましたが、あまり好きではありませんでした。それは、公立の中学や高校では、全体的に生徒の算数の理解度が低いのです。算数は覚える教科ではなくて、頭を使う教科です。小学校の頃から、算数の理論的な思考を培う教育が必要と感じ、小学校で教えるようになりました。エジプト日本学校では、新しいカリキュラムがあります。授業時間が80分で多くの活動や設備、また教材があり、それが非常に役立っています。学校は勉強だけでなく生活のためにも必要です。エジプト日本学校にはTokkatsuの活動があり、子ども達にとってとても良いと思います。

Q 2:私は、先生の仕事が好きで、子どもと接する時間を大切にしています。そのため、学校運営の立場でなく今の子どもに教えることを続けたいです。プライベートでは、マトルーフ県ですと働いているので、家族と一緒に住むことが目標です。私はマトルーフ県が好きなので、アシュート県には戻りたくありませんが、家族はアシュート県で良い関係があるので引っ越したくないと言っています。

Q 3:理想の先生は、授業の教え方が上手というだけでなく、自分のキャラクターが学生のモデルとなる先生です。私は子どもたちに、兄のように接しています。休みの日も、彼らがサッカーのグラウンドを予約したときは私を誘ってくれます。給与だけでなく、それが自分のライフスタイルの一部となるのが、私にとっての良い先生の姿だと思います。

Q 4:エジプト日本学校はとても楽しいです。子ども達が、学校を好きで楽しんでいて、家に帰りがたらないのです。長期の休みの時は「学校はいつ始まるの?」と連絡してきます。朝、学校に行きたくないという気持ちはありません。

先生自身のこと エジプト日本学校の先生 として働くこと、を聞きました。

- Q1.先生を目指した理由を教えてください
- Q2.将来の目標を教えてください
- Q3.理想の先生像を教えてください
- Q4.エジプト日本学校で教えることについてどう感じていますか?

Q 1:子どもが一番大切だと感じています。子どもの生活の向上や人格形成を目指し、将来のリーダーとして育てるために小さい頃から指導することが重要だと考えています。エジプト日本学校も同様の考えで、2018年のスローガン「子どもが一番大切」に共感しました。



サムヌード校マイサ先生

Q 2:仕事の夢は、日本の研修に行った時に、日本の子どもが、賢く、自分達で考え改善できているように見えたので、エジプトでも同じようになって欲しいと思います。子どもが、もっと授業や活動に参加する機会を増やしたいです。また、ずっとエジプト日本学校で働きたいです。私たちの学校は田舎にありますが、エジプト日本学校の影響は非常に大きいので、社会に広がって欲しいです。

Q 3:理想の先生は、子どもを最大限にサポートし、子どもが迷わないように最後までサポートする先生です。子どもを一番に考える先生が素晴らしい先生だと思います。エジプト日本学校ではこのような先生はたくさんいます。日本では、先生が子どもをサポートし見守っているのを見ました。これがエジプトでも広まって欲しいです。

Q 4:学校で教えるのは楽しいです。レッスンスタディに参加して他の先生のやり方を知るのには本当に楽しいです。エジプト日本学校の教え方は特別で、他の学校と教え方が違います。



アリーシュ校アフマド先生

Q 1:先生の仕事はとても良い仕事だと思っています。子ども達が先生のことを好きになり、良いコミュニケーションを取ることができるようになることや、算数が苦手な子どもが私のやり方で算数を好きになり、理解できるようになるのはとても嬉しいです。エジプト日本学校はTokkatsuがあり、新しい考え方を持っています。この仕事は本当に良い仕事だと感じています。ここでの1年間は他の学校での5年の経験に相当すると思います。忙しいこともありますが、多くの経験をできることは非常に良いことです。

Q 2:毎年目標を持って一生懸命働いています。今年の目標は英語のスキルアップです。家では子どもと良い関係を築き、エジプトのために良い子どもを育てたいと思っています。

Q 3:子ども達に良いインパクトを与えられる先生でありたいです。将来会った時に「良い先生だった」と言ってもらえるような先生を目指しています。

Q 4:エジプト日本学校のルールやテクノロジーを使い教えることはとても楽しいです。良いシステムと活動がたくさんあり、自分自身を改善することができます。公立の学校では以前と同じカリキュラムで同じ教え方をしていますが、エジプト日本学校では新しいシステムや方法があり、自分を改善することができます。



ニューカイロ校 ヘバ先生

Q 1:私は、自分が幼稚園の頃から先生になりたかったです。大学入試で私の点数が低くて、教育学部のある大学に入ることが出来ず、当時の先生と母親からアドバイスをもらい、言語の学部に入学しました。その大学を卒業し、教員になるディプロマコースを受講しました。エジプト日本学校のことを色々聞いていて、Tokkatsuのことをもっと詳しく知りたいと思い志望し、合格しました。エジプト日本学校に教師として加わることでができ、本当に良かったです。

Q 2:夢は、子どもをサポートして良い母親であることです。娘が自信を持てるようにがんばっています。私が仕事をしているのは給料のためだけではなく本当に仕事が大好きなんです。家の役割と両立し、仕事と両方をスムーズにできるようになるのが希望です。

Q 3:私の理想の先生は、自分自身で改善でき、新しいことを習う姿勢を持ち続ける人です。経験があっても子どもから新しいことを学び、新しい本を読むなどいつも自分を向上し、子どもには笑顔で接し、ポジティブな影響を与える、また、ちゃんと授業のために準備をする先生が理想です。私はエジプト日本学校の中で良いポジションに就くのではなく、良い先生として、周りの先生に自分の経験を共有できる人になりたいです。

Q 4:先生として子どもに教えるのは楽しいです。遊びを通じた学びの時間はとても楽しいです。子どもが本当に大好きです。子どもとの時間を楽しんでます。子どもにも良い影響を与え、子どもたちも勉強したり遊んだりしていると感じています。

Q1.先生を目指した理由を教えてください Q2.将来の目標を教えてください Q3.理想の先生像を教えてください
Q4. エジプト日本学校で教えることについてどう感じていますか？



トゥール校 イスラー先生

Q 1:元々、教員になる勉強をしていませんでした。大学の時に結婚、出産し、ママになったことで先生として働きたい気持ちが生まれました。以前から、弟に勉強を教えるなど、先生の役割は好きでした。シナイ県の出身ですが、高校生の時に家族みんなでスエズ県に引っ越しして、スエズ県に近い大学に入学しました。その時は、治安の関係で教育学部のある大学には通えませんでした。エジプト日本学校が開校する時に、他の学校と異なる活動を行っているという聞き込みで、自分自身普通の先生ではなく、何か特別な先生になりたいという気持ちがあったので、エジプト日本学校を選びました。だから今働けていることは、すごく良いことです。エジプト日本学校が開校した時から経験できているのは嬉しいです。

Q 2:家族としては、自分の子どもたちが特別な子どもになって欲しい。お医者さんやエンジニアになるのではなく、好きなことをやって欲しい。好きなことをちゃんとやってくださいと伝えている。

Tokkatsuは良い影響、効果があると思うので、自分の子どもだけでなく、いともエジプト日本学校にいます。家族のような小さいコミュニティでもTokkatsuを行っています。自分自身としては、博士号をとりたい。そして心理学についてももっともっと勉強して、子どもや先生の心理を学びたい。

Q 3:私は、いくら疲れていても、子どもたちのリアクション見たらいつでも元気になります。子どもたちと接すると、自分自身が本当に良いことをしていると感じます。チームワークで働いていることも本当に楽しいです。他の学校にはないです。今まで色々な研修に参加してきましたが、他の学校の先生は、子どもたちの人数がすごく多くて子供や先生同士でやり取りする時間がないそうです。他の学校の先生たちが、授業研究をエジプト日本学校に見学に来ました。

Q 4:エジプト日本学校は、安全面や先生方自身が他の学校と異なります。両親の活動があるため、両親もサポートしてくれる。それもとても良いことです。他のインターナショナル校などは、シャルムシェイク地域にはありますが、トゥール地域にはないです。エジプト日本学校は特別な学校として有名で、ここで働くことは特別な先生と感じている。トゥール地域には学校がなくて、エジプト日本学校で働いていることで、優秀な先生だとみんなに思われるのが私の誇りです。



ラディッシュ校 ゼイナブ先生

Q 1:小学校の時に教師になると決めました。家が学校の隣で、横にはナイル川が流れていて、とても静かで良い環境でした。それが良い影響を与えたと思います。そして、家族の影響も大きかったです。エジプトの南の地方では、女性の職業は、先生か医者が必要な選択肢です。私の祖父は、家族の中の誰かに教師になってほしいと願っており、私の希望と夢は文化に合わせたものでもあり教師になりました。私は、いつも新しいことをしたい、改善したいと考えています。エジプト日本学校は新しい考え方を持っているので、自分の希望に合っていると感じました。

Q 2:仕事では、毎年研修に参加したいです。また、小学校の子ども達が中学校に進学した後、どのように成長するか見てみたいです。そして、日本人の方々にもう一度会いたいです。プライベートでは、両親に私自身のことを、誇りに思ってもらいたいです。また、車を買いたいと思っていますが、父が反対しているので、まだ買っていません。

Q 3:私は先生の仕事が大好きです。常に自分自身を改善しようと努めていて、新しい情報があれば他の人と情報交換しています。また、自分の目的をしっかりと理解し、一生懸命に仕事に取り組んでいます。他の先生からのコメントやアドバイスは、反対意見があっても最後までしっかりと聞きます。そして、何よりも子どもたちのことを一番に考えています。

Q 4:この仕事は本当に楽しいです。なぜかという、子ども達と何でも共有できるからです。公立の学校で働いていた時には、あまりそのような機会がありませんでしたが、今は違います。エジプト日本学校は勉強だけでなく、子ども達の生活にも注目していて、それぞれの子どもの良いところを伸ばすことも行っています。

Q 1:家族がみんな先生だったので、自分も先生になりたいと思っていました。2014年に、私立の学校の先生として働いていた際は、先生の仕事はあまり好きではなかったですが、2年間経って興味を持てるようになりました。エジプト日本学校で働き始め、日本文化や教育システムについて詳しく知ること、また日本に行くことを望んでいましたが、今2つとも叶い嬉しいです。

Q 2:私の夢は、お金のない人がいない世の中にあることです。このためには勉強しなくていけないと思います。みんなが勉強が出来れば、叶うと思っています。

Q 3:学生や両親と仲良く過ごし、柔軟に仕事をし、地域コミュニティとも良い関係を作りたいです。

Q 4:エジプト日本学校はとても楽しいです。これはTokkatsuの活動のおかげ。色々な活動がありますが、エジプトでは時間数が少ないです。日本のように授業の時間を延ばしたり、授業数を増やしたりなどTokkatsuの時間を増やしたいです。



アスワン校 マハムード先生

Q1.先生を目指した理由を教えてください Q2.将来の目標を教えてください Q3.理想の先生像を教えてください
Q4. エジプト日本学校で教えることについてどう感じていますか？



EGYPTIAN JAPANESE SCHOOLS
المدراس المصرية اليابانية



エジプト日本学校で働く先生

ニューズレター8号、9号では、エジプト日本学校で働く先生方について特集しました。日本と比べると、勤務時間や通勤方法や、エジプト日本学校内での異動（全国転勤）がある点などは異なりますが、教員になった理由や、子どものために働く姿からは、共通点も多くありました。7人の先生方が、先生を目指した理由や、エジプト日本学校を選んだ理由はそれぞれ異なりますが、エジプト日本学校が好きで、やりがいを持って働いている姿を感じていただけたかと思います。地域は違えども、意欲がある先生が多く働いているエジプト日本学校の様子を今後ともお届けしていきます。

コラム：プロジェクトとエジプト日本学校の1年間

2024年9月より、エジプト日本学校では新年度がスタートしました。1年間を通して、学校や先生、Tokkatsu指導員へ、プロジェクトがどのように支援しているかご紹介します。

Tokkatsu指導員認定試験



過去に4回実施したTokkatsu指導員認定試験で、認定を受けた47名のTokkatsu指導員が、Tokkatsu普及の中心的な役割を担っています。

月例ミーティング



2024年度より、Tokkatsu指導員の地域の代表が月に1回集まり、情報共有や課題について話し合っています。

教材作成支援



次年度の新しい活動の指導資料の作成や研修資料の作成、作成支援を行っています。
[指導資料等のインターネット上での公開](#)
(プロジェクトニュース 2024/06参照)

学校訪問・校内研修

長期休み中の集合研修だけでなく、実際にTokkatsu指導員と授業を観察し、Tokkatsu指導員が、授業を行った先生にどのように授業の振り返りを行うか、学校を会場にした研修も行います。



学校訪問



学校訪問は、研修で実施した内容の実施状況の確認や現場の先生への指導、また先生を指導するTokkatsu指導員のサポートをします。[特活指導員のおしごと](#) (ニューズレター第4号参照)

研修



現在実施している年2回の研修は、Tokkatsu指導員が主導となり実施しています。日本人専門家から新しい内容の講義や授業観察のポイントなど講義を行うこともあります。
[夏の研修](#) (ニューズレター第5号参照)

第9号ニュースレターでは、エジプト日本学校で働く先生の特集第2弾をお届けしました。各地域でそれぞれ頑張っている先生方の姿を感じられたでしょうか。次号でも、エジプトのTokkatsuをお届けしていきます。

問い合わせ先

JICA技術協力プロジェクトチーム
holistic_edu@padecco.jp